

平成24年度年間授業計画(第6学年図工)

月	学習内容(単元)	年間学習目標
4	・伝え合っ	<p>【造形への関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の思いをもち、進んで表現や鑑賞の創造活動を楽しみ、つくりだす喜びを味わおうとする。 <p>【発想や構想の能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見たことや感じたことなどをもとに想像力を働かせて自分らしい表現の構想をしたり、デザインの能力を働かせてつを考るなど豊かな構想をする。 <p>【創造的な技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 表したい思いや意図に応じて、創造的な技能を働かせたり、造形感覚を生かしたりして、表し方を工夫する。 <p>【鑑賞の能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 造形作品などに関心や親しみをもち、その美しさなどを感じたり、表し方のよさを感じ取ったり、味わったりする。
5	・形や色を楽しもう	
	・身近な環境で	
6	・わたしの小さな部屋	
7	・表し方をくふうして	
	・どんな動きをするのかな	
9	・表現にこめた思い	
	・墨から感じる形や色	
10	・織る、編む、組む	
11	・想像のつばさを広げて	
12	・光のハーモニー	
1	・味わってみよう、日本の美術	
2	・版を生かして	
3	・卒業制作	
年間授業時数		50
授業の工夫	○ 図画工作科が大好きな児童を増やしていくために、表現することそのものを楽しんでいく題材を設定したり授業を工夫したりする。また、高学年になると、よりうまく描きたい・創りたいという気持ちが高まってくるので、「私の町」などの題材で、遠近法を用いた風景画にチャレンジさせる。	
評価について	○ 取り組みの様子(活動・発話・関わりなど)観察、自己評価や相互評価(振り返りカードや鑑賞カード)の記録、作品(思いや意図・形や色の工夫・構成・材料の生かし方 etc)などにより、多面的に評価する。	
学習方法(家庭学習)など	<ul style="list-style-type: none"> ○ 表現力を伸ばしていくためには、一人一人がもっている感じる力を高めていくことが大切である。感動する体験を児童と一緒にできる場をつくってもらえるよう協力を促す。また、美術館などに行って多くの美術作品にふれたり自分のお気に入りの作品を見つけたりすることもすすめる。 ○ 夏休みなどの長期の休みには、時間をかけて描いたり工作をしたりしてじっくり根気強く作品に取り組んでいくようにさせる。 	